

第6回 苫小牧市行政改革推進審議会 議事録

日 時	平成29年12月27日(水) 15:00 ~ 16:00
場 所	市役所9階会議室
出席委員	石田委員、石森委員、加賀谷委員、川島委員、杉立委員、須田委員、滝本委員、中瀬委員、中村委員、山上委員(敬称略、五十音順)
事務局	行政監理室
会議次第	<ol style="list-style-type: none"><li>1 開会</li><li>2 会長挨拶</li><li>3 議題<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 行政改革プラン-NEXT STAGE-平成29年度上半期進捗状況について</li><li>(2) 行政改革プラン-NEXT STAGE-改訂版案について</li></ol></li><li>4 その他</li><li>5 閉会</li></ol>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>定刻となりましたので、ただ今から、第6回苫小牧市行政改革推進審議会を開催いたします。</p> <p>この度、公地委員が都合により退任されることとなり、後任として、同じく連合北海道苫小牧地区連合の山上さんに委員をお願いすることとなりましたので、これより委嘱状の交付を行います。</p>
〈委嘱状の交付〉	
事務局	<p>任期につきましては、残任期間の平成31年1月29日までとなります。</p> <p>それでは、山上委員より、一言自己紹介をお願いいたします。</p>
山上委員	〈自己紹介〉
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、審議会の開催にあたりまして、石森会長より一言御挨拶をお願い致します。</p>
石森会長	<p>年末のお忙しい中、審議会に御出席いただき感謝申し上げます。</p> <p>前回までの審議会にて議論した「行政改革プランの見直しに関する答申書」を10月17日に市長へ提出いたしました。</p> <p>今回、答申の内容を踏まえた行政改革プランの改訂案が事務局より事前に送付されております。</p> <p>本日の審議会では、この改訂案と平成29年度上半期の進捗状況を事務局から報告いただき、議論していきたいと思っております。</p> <p>本日も、忌憚のない御意見ををお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これからの議事進行につきましては、石森会長にお願いしたいと思います。</p>
石森会長	<p>それでは、議題の『行政改革プラン－NEXT STAGE－平成29年度上半期進捗状況について』に入ります。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>皆様には、事前に平成29年度上半期進捗状況等に係る資料を送付させていただきましたが、大変お忙しいところ、お目通しをいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>それでは、行政改革プラン－NEXT STAGE－の平成29年度上半期の進捗状況について説明させていただきます。</p> <p>進捗状況に対する評価や意見書の作成は、年度の終了時となりますので、今回の上半期では、進捗状況の報告のみとなります。</p>

また、時間の制限もございますので、全ての項目についての説明は省略させていただき、主だった取組を中心に説明させていただきたいと思っております。

資料6-2を御覧ください。テーマ1『市民サービス向上策の積極展開』の担当課による自己評価は、9項目中、Aが2項目、Bが6項目、Cが1項目となっております。2ページ下段、No.1-5『各種証明のコンビニ交付の検討』は、今年6月12日から、マイナンバーカードの機能を活用し、コンビニで各種証明書の交付を受けられるサービスを開始しております。サービス開始により取組を終了しますが、今後は、コンビニ交付サービスの周知とともに、効果をより高めるためにマイナンバーカードの普及促進を図ってまいります。3ページ上段、No.1-7『各種料金のコンビニ収納導入』は、当初29年度の住宅管理システムの更新にあわせて住宅使用料のコンビニ収納を開始する予定でしたが、費用の面からも現行の住宅管理システムの更新をせずに総合行政システムへの統合を決定したため、総合行政システムが導入される平成31年1月に実施時期を延期しております。

テーマ2『民間活力の積極的な活用』の担当課による自己評価は、11項目中、Aが1項目、Bが7項目、Cが3項目となっております。7ページ上段、No.2-3『ICT推進における外部人材活用の検討』は、専門的知識やノウハウを有する外部のコンサルタントから支援を受けることにより、適切なプロポーザルを実施することができ、5月には新たな総合行政システムの契約締結に至っております。11ページ、No.2-12『第2学校給食共同調理場の調理業務の民間委託』ですが、当初の工程に比べて1年遅れたものの上半期にてプロポーザルを開始し、11月には受託事業者が決定しております。現在は、平成30年度からの業務委託開始に向けて準備を進めております。

テーマ3『公共施設の適正配置と効率的な活用』の担当課による自己評価は、11項目中、Bが9項目、Cが2項目となっております。14ページ下段、No.3-9『児童センターの効率的な配置』は、沼ノ端鉄北地区の児童センターを含む新たな複合施設「沼ノ端交流センター」の実施設設計が6月に終了し、10月から本体工事に着手しております。来年10月頃の完成を予定しております。16ページ下段、No.3-13『市営住宅の管理戸数の適正化』は、管理戸数の適正化に向けた「市営住宅整備計画」の素案を策定しております。年度内に完成し公表する予定となっております。

テーマ4『事務事業の継続的な見直し』の担当課による自己評価は、

12項目中、Aが1項目、Bが10項目、Cが1項目となっております。19ページ上段、No.4-3『(株)小牧振興公社の出資の引揚げ』は、今年度末の解散に向けて準備を進めております。振興公社が管理している施設については、他の緑ヶ丘公園内の運動施設と一体で次期指定管理者を指定しております。21ページ上段、No.4-7『災害時における情報発信の強化』は、昨年度に整備した総合防災システムや、防災ラジオの情報と連携したプッシュ型の新たな情報発信サービスを開始しております。

テーマ5『新たな財源創出と効率的な財政運営』の担当課による自己評価は、7項目中、Aが1項目、Bが5項目、Cが1項目となっております。24ページ上段No.5-2『給与明細裏面への広告掲載』は、これまでも委員の皆さまから御意見をいただいておりますが、後ほど説明させていただく改訂版にて、広告掲載から電子化へ方向転換する予定となっております。No.5-6『公共施設への新電力（PPS）の導入』は、平成28年度の削減効果を検証し、6,843万9千円の効果額が生まれております。現在、平成30年度の契約に向けて準備を進めております。

テーマ6『機能的な組織づくり』の担当課による自己評価は、8項目中、Bが7項目、Cが1項目となっております。28ページ下段、No.6-2『組織機構の再調整』は、税関係の証明交付を所管する税制課を平成30年度から廃止し、市民税課へ業務移管する予定で取組を進めてまいりました。また、これまでワーキンググループで検討してきた総合窓口の設置について、具体的な準備作業を進めるため、10月から専門組織である「総合窓口準備室」を設置しております。30ページ下段、No.6-7『危機管理体制の24時間化』は、昨年度に危機管理室と消防本部にて策定した「火災・災害等における連携強化要領」によって24時間の危機管理体制を運用し、取組を終了しております。今後も関係部署で調整を図りながら、更なる連携の強化に努めてまいります。

テーマ7『協働によるまちづくり』の担当課による自己評価は、9項目全てがB評価となっております。33ページ下段、No.7-6『提案型公共サービス委託制度の検討』は、上半期にて制度設計と市民周知を図り、11月から事業の募集を開始しております。29年度は、選定した11事業を対象に平成31年度からの委託を目指しますが、来年度以降は、今回の応募状況などを勘案し、対象事業を拡大するなど制度の改善を図ってまいります。35ページ上段、No.7-9『男女

	<p>平等参画社会の実現に向けた効果的な取組』は、10月13日から15日までの3日間で「日本女性会議2017とまこまい」を開催しております。約2,000人の参加者にて、大会を成功裏に終えることができました。今後も、男女平等参画社会の実現を目指し、取組を推進してまいります。</p> <p>以上、雑駁ではございますが、行政改革プラン-NEXT STAGE-の平成29年度上半期進捗状況についての報告を終わらせていただきます。</p>
石森会長	<p>ただ今、事務局から説明がありましたが、御質問、御意見等ございますか。</p>
川島副会長	<p>No.1-5『各種証明のコンビニ交付の検討』について、平成29年6月12日からサービス開始ということですが、実際にスタートしてみて、利用頻度はどのくらいでしょうか。</p>
事務局	<p>このコンビニ交付は、マイナンバーカードの機能を利用するため、カードを持っている方だけが受けられるサービスとなっております。10月末でマイナンバーカードの普及率が約10%となっておりますので、窓口での交付件数を上回るような状態ではなく、現在は、月160件から180件くらいで推移しております。</p>
川島副会長	<p>マイナンバーカードを普及させる流れの中で、必要なサービスということですね。</p>
石森会長	<p>そのほかございますか。</p>
石田委員	<p>関連してですが、この取組の特記事項にマイナンバーカードの普及率向上に貢献したと考えるという記載がありますが、10%程度であれば、普及率があまり上がっていないのではないかと思います。どの程度、貢献したとお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>マイナンバーカードを普及させていく上で、現在はカードの付加価値というものが少ないところでして、利便性の高いサービスとあわせて、カードの普及促進に繋げていきたいと考えております。</p> <p>コンビニ交付サービスの開始によって、どの程度、普及率に効果があったのかを押えることは難しいところですが、担当課としては、このコンビニ交付サービスを始めなければ、今よりカードの普及率が低かったであろうと考えていると思います。</p>
石田委員	<p>意向は、よくわかりましたが、実際の数字を検証できていないのであれば、このような記載を入れる必要はないと思います。</p>
石森会長	<p>少し誤解を与えるかもしれませんね。</p> <p>市としては、マイナンバーカードをもっと普及させたいところです。</p>

	よね。
事務局	<p>コンビニで証明書を取るほうが、窓口で証明書を取るよりも、料金を安く設定しております。</p> <p>なるべくコンビニ交付を利用していただくことで、窓口の来客者数を減らし、その分の職員を他部署で活用するということまで考えておりますが、マイナンバーカードの普及ということまで進んでいない状況です。</p>
石森会長	No.3-4『公共施設の複合化による苫小牧市民ホール(仮称)の設置』について、現在の進捗の状況を御紹介いただきたいと思います。
事務局	市民ホールについては、NEXT STAGEを策定した当初の工程からは大幅に遅れておりますが、ホールのコンセプトを作るための市民との検討に時間をかけているところまでございまして、今年度で基本計画ができあがるどころです。
川島副会長	言葉の確認ですが、No.1-3『各種窓口サービス向上の取組に関する検討・実施』に、コンビニ交付対応マルチコピー機の設置とありますが、これは、どのようなものですか。
事務局	<p>コンビニでは、マルチコピー機で証明を取得することができるのですが、それと同じ機能のものを庁舎1階にも設置しております。</p> <p>窓口に行かなくても、マイナンバーカードを利用して、証明を取得できるようになっております。</p>
川島副会長	住民課窓口に行って、申請書を書かなくても、マイナンバーカードがあれば、証明書を取れるということですね。
事務局	<p>こちら窓口で証明を取得するより料金を安く設定しておりますので、同じ市役所でも、住民票は、窓口で申請すると300円かかるのが、ロビーにあるコピー機で取得すると250円で済むということになります。</p> <p>市役所の中にも、コンビニと同じコピー機があるということです。</p>
石森会長	50円ではありますが、安さをPRした方が良いかもしれませんね。
事務局	PRに努めます。
中村委員	今は50円ですが、もっと安くするという方向で検討をされないのですか。
石森会長	皆がコンビニ交付を利用すれば、もっと安く設定できるのでしょうか。
事務局	窓口とコンビニとを同じ料金で設定している自治体もありますが、本市は、コンビニ交付の方へ人を流すために安く設定したところでは。
石森会長	そのほかございますか。

中瀬委員	<p>No.4－7『災害時等における情報発信の強化』ですが、防災ラジオ等と連携した情報発信を開始したということですが、この防災ラジオというのは、どのような仕組みになっているのですか。災害が発生した際にラジオを聴いてる方はわかるが、聴いてない方はわからないということでしょうか。</p> <p>調べてみたのですが、北海道の主要都市の中には、ケーブルテレビと協定を結び情報発信する形をとっている自治体があります。ラジオを聴いているより、テレビを見ている家庭の方が多いと思われますので、ケーブルテレビをもっと活用することも考えていくべきかと思えます。</p>
事務局	<p>防災ラジオと同じ情報をメールや電話で発信する取組を開始したのですが、防災ラジオの仕組みについては、調べて後ほど回答させていただきます。</p>
石森会長	<p>そのほかございますか。</p>
山上委員	<p>No.1－4『本庁舎への公衆無線LAN(Wi-Fi)の導入』について、これまで色々と取組を進めてこられているとのこと。今年も「ふくし大作戦」ということで、4月から手話言語条例が施行され、その関係で、市も積極的に講習会を開催したり、手話講師を育成したり、動画を作成したり、病院や、市役所などの公的機関に行かれるときに手話を活用しましょうというのを見て、すごく良い取組だと思っています。</p> <p>私は、こういったところで更に動画といったコンテンツを充実させることが非常に大事だと思います。例えば、スマートフォンですと、ラジオを聴くこともできますし、緊急時など、公共施設に非難をした際に活用できるようなことも、考えていければ良いかなと思います。</p>
事務局	<p>動画に関しましては、No.1－2『動画を活用した情報発信の充実』という取組をプランに掲げておりまして、28年度に環境を整備したことで、取組終了となっておりますが、今年度も、移住・定住に向けたPR動画や、イベントの動画などを製作し、積極的に発信しているところです。</p> <p>プランの改訂案に『市政情報の効果的な発信』という新たな取組を追加していますが、この取組の中でも、動画を積極的に用いて、情報発信していくという内容を入れておりますので、今後も、動画情報の充実を図り、積極的に展開していきたいと考えております。</p>
石森会長	<p>先ほど、防災に関する情報を市民にどう伝えるかという意見がありました。</p>

	<p>先日発表された、千島沖のマグニチュード9の地震の想定に対し、苫小牧市は地理的に直接ではないかもしれませんが、どのような影響があるのか、どのような備えが必要なのかというところも見直す必要があると思います。</p> <p>防災に関する市民周知を改訂案でも取り組んでいただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>そのほかございますか。</p> <p>なければ、次の議題の『行政改革プラン－NEXT STAGE－改訂版案について』に入りたいと思います。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>審議会からいただいた「行政改革プラン－NEXT STAGE－の見直しに関する提言」の内容を踏まえまして、改訂案を作成し、委員の皆様へ事前送付させていただきました。</p> <p>資料6－4が、現行の行政改革プランと改訂案を左右対照で比較したもの、資料6－5が改訂案の概要となります。</p> <p>それでは、資料6－5をもとに説明させていただきます。</p> <p>まず、見直しに当たっての基本的な考え方ですが、現行のプランに掲げた7つのテーマの方針を維持しつつ、社会経済情勢の変化や市民にニーズの変化を考慮し、時代にマッチした行政改革を推進するため、プラン全体の見直しを図っております。</p> <p>新規の取組項目については、提言の内容を踏まえたもののほか、担当部署と協議し、計22項目を追加しております。</p> <p>取組内容の追加や変更については、既存の取組内容に新たな取組を追加したものが4項目、前期の取組期間で方向性を検討し、検討結果に基づき実施するものが6項目、その他で5項目、計15項目となっております。</p> <p>そのほか、これまでの検討結果に基づき、取組工程を確定したもの、変更したものが12項目となり、合計で49の取組項目について見直しを行っております。</p> <p>2ページを御覧ください。7つのテーマごとに、新規項目について取組の概要を説明させていただきます。テーマ1「市民サービス向上策の積極的展開」は、新たに6項目を追加しております。No.12「総合窓口の設置」は、市民サービスの更なる進化を目指すものであり、総合行政システムの機能を活用した、苫小牧モデルの総合窓口を設置し、また、あわせて、窓口の業務については、民間委託の方向で検討を進めるものです。No.13「ご当地ナンバープレート導入によるPR</p>

の推進」は、民間団体からも要望のあった、図柄入りのナンバープレートを導入することで、本市の魅力を全国にPRし、知名度の向上を図るものです。No.14「受動喫煙防止の推進」は、健康に悪影響のある受動喫煙の防止を図るため、ガイドラインを作成し、市民・地域・企業・関係機関・行政が一体となって取組を推進するものです。No.15「市政情報の効果的な発信」は、広報とまこまい、暮らしのガイドなどの内容を改善するほか、動画の効果的な活用や、プッシュ型情報発信ツールの充実、ホームページを主要施策と連携させるなど、本市の魅力を内外に積極的にPRするものです。No.16「公共交通の利便性向上の取組」は、公共交通機関の利用者数が減少する中、市内路線バスを安定して維持し、利便性を向上させるため、「苫小牧市地域公共交通網形成計画」を策定するとともに、運行時刻や経路を容易に検索できるスマートフォン向けのアプリを導入するものです。No.17「アイスホッケータウンの積極的なPRの推進」は、本市の「アイスホッケータウン」としての恵まれた競技環境や魅力を全国から学生が集まる大会などで積極的にPRすることで、移住促進を目指すものです。

テーマ2「民間活力の積極的な活用」は、新たに6項目を追加しております。No.13「納入通知書等の大量印刷業務の民間委託」は、現在、情報推進課の高速連帳プリンタで行っている印刷業務についてノウハウを持つ民間事業者へ委託することで、印刷物の保管から、印刷、封入封緘、発送までを一括して行い、業務の効率化に繋げるものです。No.14「給与計算業務の民間委託」は、人事給与システムの更新にあわせて、定型的な給与計算の業務を民間に委託し、業務の効率化と費用の抑制を図るものです。3ページ、No.15「レセプト点検業務の民間委託」は、現在、嘱託職員が行っている生活保護世帯の医療扶助に係るレセプト点検について、先進市の事例を参考に民間委託の検討を進めるものです。No.16「会計課業務の民間委託の検討」は、定型的な業務内容の多い会計課の業務内容を精査し、民間委託の可能性を検討するものです。No.17「学校司書の民間委託の検討」は、平成30年度にて小学校の全校配置が完了する学校司書について、中学校への配置拡大とともに民間委託の可能性を検討するものです。No.18「とまチョップ水事業の民間委託の検討」は、現在、直営で実施している定期的な配送業務などについて、民間委託の可能性を検討するものです。

テーマ3「公共施設の適正配置と効率的な活用」は、新たに2項目を追加しております。No.15「公共施設等総合管理計画の推進」は、

将来の税収増が見込めない中、公共施設やインフラを低コストで適正に維持管理していくため、平成29年1月に策定した「公共施設等総合管理計画」に基づき、施設統廃合による管理面積の縮減や長寿命化の取組を推進するものです。No.16「屋内ゲートボール場の在り方の検討」は、ゲートボールの競技人口が減少し、現在、利用者の7割がテニスなどの他競技の利用となっている屋内ゲートボール場について、様々な角度から検討を行うことで、今後の施設の方向性を示すものです。

テーマ4「事務事業の継続的な見直し」は、新たに2項目を追加しております。No.14「危機管理体制の整備強化」は、平成26年に策定した「苫小牧市業務継続計画」について、現在の組織体制にあわせて、見直しを行うとともに、計画の内容を市民にわかりやすい形で公表するものです。No.15「市議会議事録作成業務の効率化」は、音声認識ソフトの導入や民間委託の拡大など、有効な手段を検討することで、議事録作成のスピードアップを図り、業務の効率化と速やかな情報公開を目指すものです。

4ページを御覧ください。テーマ6「機能的な組織づくり」は、新たに3項目を追加しております。No.10「職員人材育成の推進」は、前回の改訂から5年が経過した「苫小牧市人材育成方針」の見直しを行うとともに、職員研修の充実や自己研鑽に係る褒賞制度の構築などにより、職員のスキルアップと将来を担う人材の育成を目指すものです。No.11「繁閑調整に係る仕組みの構築」は、限られた人的資源にて、新たな行政課題に対応していくため、所属長の職務命令や発令に基づき、組織の枠を超えて業務の繁閑を調整できるような一定の基準を設けるものです。No.12「徴収業務の見直し」は、現在、納税課と国保課がそれぞれで行っている徴収業務を一元化して業務の効率化を図るとともに、クレジットカード納付など、利便性向上や収納率向上につながる取組を検討するものです。

テーマ7「協働によるまちづくり」は、新たに3項目を追加しております。No.12「パブリックコメントの効果的な運用」は、他市の事例を研究するなど、パブリックコメントをより効果的に運用する方法や、市民の意見提出の機会を拡充する仕組みを検討することで、市民参加の意識向上を目指すものです。No.13「コミュニティ・スクールの導入」は、苫小牧市学校教育力向上マスタープランに基づく、「学校・家庭・地域社会が連携した信頼される学校づくり」のため、モデル校を指定し、実践検証を行うものです。No.14「町内会加入促進の取組」

は、加入率の低下、役員の高齢化や担い手不足が問題となっている町内会について、加入と活動参加の啓発を継続的に実施し、特に未加入世帯の多い集合住宅への新たな取組を検討するものです。

5ページを御覧ください。取組内容の追加ですが、これまでの進捗状況や社会経済情勢の変化から、既存の取組内容を拡充した項目が4項目ございます。

まず、No.1-1「移住・定住促進に向けた情報発信」ですが、ホームページの充実や、民間事業者の住宅情報との連携など、移住を検討している方が情報を取得しやすい環境の整備を目指しておりましたが、移住・定住促進に向けた取組を更に推進するため、移住フェアへの出展やお試し移住など、新たな施策を展開し、本市が行う他の行政サービスと連携し、移住者の受け入れ体制の構築を目指す内容を追加しております。No.4-2「マイナンバー制度の利活用」は、これまでに実施した各種証明のコンビニ交付など、マイナンバーカードを活用したサービスの効果を更に高めるため、利活用とあわせて、カードの普及促進を図る内容を追加しております。No.5-2「ふるさと納税の推進」は、地元特産品を活用した返礼品の見直しや、クレジット決済の導入など、寄附環境の整備により取組を終了した項目ですが、新たにふるさと納税の用途の明確化や、業務の効率化を目指し民間委託の検討を進めるなど内容を追加しております。No.7-1-1「期日前投票の効果的な運用の検討」は、これまで期日前投票所の時間延長や、商業施設への設置などを実施してきましたが、選挙権年齢の引き下げに伴い、若年層の関心を高めるため、「若者選挙サポーター」を募集して啓発活動を行うなど内容を追加しております。

検討結果に基づく実施等ですが、現行のプランでは、「在り方の検討」などの表現で、方向性を示す内容でしたが、これまでの検討結果に基づき、取組を進める項目が6項目ございます。そのほかにも、進捗に応じて取組内容を変更するもの、工程を確定・変更した項目が多数ございます。

次に資料6-4の14ページを御覧ください。こちらはNo.1-1の取組項目となりますが、左が現行の行政改革プラン、右が改訂案となっております。各項目の変更・追記した内容は赤字で示しております。

最後に、今後のスケジュールですが、年明けの1月4日から2月2日の間で、パブリックコメントを実施し、2月上旬には、部長職で構成する「行財政改革推進本部会議」にて、改訂案を最終決定する予定

	<p>です。その後、2月議会に改訂案を提出し、取組をスタートする予定となっております。説明は以上です。</p>
石森会長	<p>ただ今、事務局から説明がありましたが、御質問、御意見等ございますか。</p> <p>本日、改訂案を審議して、その後パブリックコメントを実施して、最終決定となるのですね。</p> <p>パブリックコメントの内容は、教えていただけるのでしょうか。</p>
事務局	<p>本日もいただいた意見と、パブリックコメントを踏まえて、改定案の内容を修正します。</p> <p>パブリックコメントについては、意見に対する市からの回答を作りますので、ホームページでも公表しますし、後日、完成版を送付する際には、パブリックコメントの内容も、あわせて送付したいと思います。</p>
石森会長	<p>そのほか、御質問ございますか。</p>
川島副会長	<p>資料6-4の84ページ、No.5-1「ふるさと納税の推進と実施方法の見直し」ですが、ふるさと納税の用途を明確化するというのは、非常に良いことだと思っています。もう一言、更に追加でお願いしたいのは、ふるさと納税というのは、そもそも寄附控除ですから、どのような目的で、いただいた寄附を使っていくのか。例えば、スクールバスを購入するために使いますとか、こういったプロジェクトの財源に使いたいとか、苫小牧市として、集めた寄附の使い道を事前に明確化したらどうでしょうか。お金を出す側にとっては、その方がわかりやすいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>ふるさと納税の募集の段階で、用途を明確化するというのでしょうか。担当課と協議させていただきたいと思います。</p>
石森会長	<p>実績は、どれくらいでしたか。</p>
事務局	<p>28年度で、8,500万円くらいです。</p>
石森会長	<p>昨年度から急に伸びましたよね。</p> <p>1億円に近い状況になれば、今の御意見のように、何に使うのかということをも最初に知らしめることも必要かと思っています。</p>
事務局	<p>現在も、5つくらいのカテゴリーに分かれているところですが、もう少し細かく、寄附する段階からわかるようにということが可能か、検討させていただきたいと思います。</p>
石森会長	<p>まだ、今年も伸びているのではないかと思います。</p> <p>ふるさと納税額も1億円近くになれば、資金の用途というのは必要になってくるという気がします。検討してみてもいいかでしょうか。</p>

	<p>そのほかございますか。</p>
山上委員	<p>新規の取組項目についてですが、テーマ2には、民間活力の積極的活用と書かれています。民間企業との協業の中で、非常に重要なポイントであると私も認識しております。</p> <p>これらの取組の中で、具体的に例をあげるとNo.15『レセプト点検業務の民間委託』がわかりやすいかと思いますが、生活保護世帯の医療扶助に係るレセプト点検業務となりますと、当然、国の法律が変わると、その流れで何年の何月から遡って変更が発生したり、最終的に返金したりとかに繋がると思います。</p> <p>何を言いたいのかと申しますと、行政の役割として、民間に委ねることができない業務と申しますか、言葉が適切かはわかりませんが、私の会社では、コア業務、ノンコア業務という表現を使っています。</p> <p>行政として責任を持つべきコア業務がどこまでなのか。民間のノウハウを活用することによって、効率化に繋がるノンコア業務はどこまでなのか。その辺をきちんと区分けしたうえで、民間活力を活用して協業に向かっていくべきだという気がします。</p> <p>今、一つの例をあげましたが、これから色々と進めていく過程で、行政として責任を持たなければならないコア業務と、ノンコア業務の考え方について教えてください。</p>
事務局	<p>まず、レセプト点検業務に関しては、今回の取組に先行して国民健康保険で既に民間委託を実施しております。そこでも、行政に残している部分と民間に委託している部分を切り分けておりますので、それに倣って取組を進める予定です。</p> <p>それから、他の取組についても、今のお話のように法律によって民間に委託できない部分もございます。現在検討している窓口業務の民間委託に関しても、戸籍のこの部分は、絶対に市が行わなければならないというところがありますので、ここまではノンコア業務、ここからはコア業務というのを、どの取組でもしっかりと切り分けなければならないと考えております。</p>
山上委員	<p>もう一つお願いしたいのは、各職場において本来やらなければならないけど、こちらの方に時間がかかってしまって、ということで、苦労されている職員がいらっしやると想像します。そういった部分を民間との協業によって、充実を図っていただきたい。</p> <p>そうすることによって、市民に対するサービスも、より充実するのではないかと思いますので、是非よろしく申し上げます。</p>
石森会長	<p>そのほかございますか。</p>

中瀬委員	<p>テーマ6のNo.10『職員の人材育成の推進』は、私からも提案させていただきます。</p> <p>取組工程として、30年度は人材育成方針の見直し、職員研修の充実、専門職の採用とあり、31年度は、自己研鑽制度の検討とありますけど、人材育成方針を見直しするということであれば、プランに書かれている内容も含めて、人材育成方針を改訂してはどうでしょうか。2年間をかけて検討したり計画するということではなく、30年度中に具体化していく流れの方が良いかと思います。</p> <p>テーマ7のNo.14『町内会加入促進の取組』も同じですが、30年度に加入促進・啓発活動の実施、集合住宅への取組強化、31年度に新たな取組の検討とありますが、やはり30年度でしっかりと加入促進の具体策を明らかにして実践していくという流れで行かなければならない。どのようにして加入率をあげるかという具体的な方針がないと取組ができないと思います。</p> <p>今年1年間の流れを見ても、具体的な部分が不十分であると私は思っていますので、そういう点でも、再度検討していただければと思います。</p>
事務局	<p>プラン上の取組工程としては、このように記載しておりますが、これまでも、前倒しできる部分は前倒ししております。改訂後もスピード感を持って、具体化して取り組んでいきたいと考えております。</p>
石森会長	<p>そのほかございますか。</p> <p>私から質問ですが、プッシュ型の情報発信ツールという言葉がありました。どのようなものをイメージしていますか。</p>
事務局	<p>これまでの答申書の審議でも、意見のあったところですが、これからは、市民がホームページなどへ情報を取りに行くのではなく、市から市民へ情報を送るというイメージです。</p>
石森会長	<p>市から積極的に情報発信していくということですね。</p> <p>それと、テーマ1のNo.17『アイスホッケータウンの積極的なPRの推進』は、苫小牧市の魅力として是非取り組むべきと思いますが、移住促進という言葉が馴染むのかは疑問に感じます。アイスホッケーのまちとして、優秀な選手を獲得するためなのか。学生のときから苫小牧市に来なければ、世界一のプレイヤーになれないというような移住促進なのか。</p> <p>私は、その前に苫小牧市民の子供を含めて、まずは、アイスホッケーの魅力をもっとPRして、建て直しが必要なのではないかと思います。移住促進という表現だと優秀な選手を引っ張ってくるのかというイメージ</p>

	<p>ジがありますが、苫小牧市の子供達のアイスホッケー離れというのがあるが、全国から苫小牧市に行かなければ駄目だという意味ではないと思いますので、移住促進という表現は一足飛びという気がします。修正してはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>表現を担当課と調整させていただきます。</p>
石森会長	<p>そのほかございますか。</p>
川島副会長	<p>会長のお話にもありましたが、アイスホッケータウンのところは、氷都とまこまいの魅力の一つであると思いますが、実際にどこで練習をするのかという場所の問題を考えたときに、駅前の王子のリンクが、今は閉館状態になっています。あの施設をもっと再利用みたいな形で、子供達の練習場所として、何かできないものかと思います。</p> <p>今は、白鳥アリーナや他のスケートリンクにしても、朝早いか、夜遅いかしか練習できないなど、利用しにくいような話も聞いています。もう少し利用できる環境があると良いなと思いますので、そのような交渉も、併せて検討いただけるとありがたいと思いました。</p>
石森会長	<p>オリンピックに出るような世界レベルの試合が、必ず苫小牧であるということであれば非常に魅力的だと思いますし、競技場を含めて、こういったPRができるのか検討していかなければならない。</p> <p>せっかく高校生の全国大会をやっているのだから、練習の環境を整備していくとか、色々あると思いますが、移住促進の前にやることがあるだろうと思います。</p>
事務局	<p>担当部署には、こういった意見があったことを伝えます。</p>
石森会長	<p>そのほかございますか。</p> <p>なければ終了させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。事務局からありますか。</p>
事務局	<p>行政改革プランの改訂に当たり、これまで、委員の皆様には、貴重な御意見を賜り誠にありがとうございました。</p> <p>この後、年明けのパブリックコメントを経て、2月の市議会に報告し、改訂版による取組をスタートさせていく予定となっております。完成した改訂版につきましては、後日郵送させていただきます。</p> <p>次回の審議会は、平成30年5月頃の開催を予定しておりまして、平成29年度の進捗状況を報告させていただきたいと考えております。</p> <p>時期が近くなりましたら、また、御案内させていただきますので、よろしく願いいたします。以上です。</p>
石森会長	<p>それでは、本日の審議会を終了いたします。</p>

	お忙しい中、御出席いただきありがとうございました。
--	---------------------------